



ご挨拶

本日は「A-Winds24」2007年夏の演奏会にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓「やまと郡山城ホール」で皆様方こうしてお逢いすることができましたことに、A-Winds一同心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の「デビュー演奏会」を始めとする、四季折々に開催する我々A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで7年余の間に24回目の演奏会を迎えることができました。これも我々A-Windsの活動そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あつてのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、作曲家の方々を、実際に練習にお招きして、ご自身の作品の生立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組み活動してまいりました。

今回は、吹奏楽作曲家の雄と言われるP. スパークの作品より、最も取り上げられる回数が多い「オリエント急行」と超難曲「ダンスムーブメント」を始めP. シャミナーデの傑作「フルートコンチェルティーノ」では、いつもは団員指揮者としても活躍する「佐藤司のフルートソロ」にて、客演にお迎えしました、吉崎直之氏の渾身のタクト♪でA-Windsのサウンドをお届け致します。

今日この50人の奏でる音楽で、皆様の五感に様々な情景をお届けする素敵な演奏会になりますよう、またこれからも精一杯、心のこもった音楽活動を続けたいという思いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

目を閉じて 瞳に映る 汽車の旅

今後とも、暖かい御指導、御支援の程、宜しくお願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

今回はイギリスの作曲家「フィリップ・スパーク」の作品を特集して演奏します。ただ、最初から「スパーク特集にしよう!」と思っていた訳ではありません。『A-Winds24は「お客様に楽しんでもらえる演奏会」にしたい!』とあって選曲を進めていった結果、4曲中3曲がスパーク作品となったのです。彼の曲はどれも難曲ばかりですが、実に幅広い作品群に出会えました。皆さまにはスパークの世界を存分に楽しんで頂きたいと思えます。

またそれ以外にも1部にはフルート協奏曲を、第2部では同族楽器同士での「アンサンブル・ステージ」をご用意しました。吹奏楽曲あり・協奏曲あり・アンサンブルありと、バラエティに富んだ今回の演奏会、皆さまどうぞお楽しみ下さい。

「A-Winds24」2007年夏の演奏会 実行委員長 小林計昭



ご案内

「A-Winds25」2007年 秋の演奏会

2007年11月4日(日)14:00開演

「なんでだろう? ワクワクする! 血が騒ぐ! 踊り出しそう! ...昔が懐かしいな...ちょっと涙が...」と、いろんな気持ちがムクムク湧きあがる……。そんなプログラムを、吹奏楽オリジナル曲とミュージカル映画音楽でお届けいたします。

芸術の秋のひとときをA-Windsと共に過ごしませんか? 皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「A-Winds25」2007年 秋の演奏会 実行委員長 久保寛美



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里

Flute 佐藤 司♪
魚谷 陽子
大塚 由紀

Oboe 松本 紘子◇
石川 真貴子☆
篠藤 文子☆

E♭ Clarinet 長尾 恭子

B♭ Clarinet 畑澤 淳子
辻 美保
竹村 明恵
栗原 茂美
大江 奈々
和田 麻佑
小澤 朋子♪
木村 清香☆
中村 佳代☆

Alto Clarinet 大西 晴己

Clarinet 小山 優美◇
山口 寿美☆

Bassoon 萱原 美華子♪
満江 孝文

Double Bassoon 田中 伸幸☆

Alto Saxophone 島田 博一♪
田中 香菜絵

Tenor Saxophone 初岡 和樹

Baritone Saxophone 吉村 由夫

Horn 久野 耕三#
次田 哲平◇
小林 計昭♪
池原 裕子

芳賀 大輔
村上 綾

Trumpet 表 恭子
吉川 茂宏
魚谷 昌克
篠木 章江#◇
山本 洋介♪
亀田 小百合◇♪
森内 ひとみ☆

Trombone 萱原 淳嘉
岡田 卓也
小泉 文浩
田中 眞二♪

Euphonium 大西 善郎
忠澤 直美◇
浦井 崇☆

Tuba 平野 幸子
吉田 新司

String Bass 佐藤 良一☆

Cello 松山 透☆

Percussion 平井 晶
荒井 智子
谷口 麻子◇
辻 歩
久保 寛美
川本 理恵
豊川 史香♪

Piano 八木 真木♪

Announcer 小川 貴子

☆エキストラ
◇休団
♪2007年夏の演奏会実行委員
#アンサンブルステージ実行委員



A-Winds メンバー募集

●募集パート

- ・オーボエ (イングリッシュ・ホルン) / 1名
- ・B♭クラリネット / 2名
- ・トランペット / 1名
- ・チューバ / 1名
- ・コントラ・バス / 2名

- A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方
 - 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方
- 問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp

詳細はお問い合わせ下さい。



2007年 夏の演奏会



2007年6月10日(日) 14:00開演

やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



●第1部 指揮者:吉崎直之

バンドワゴン
THE BANDWAGON

作曲: フィリップ・スパーク / Philip Sparke
出版: アングロ・ミュージック / Anglo Music

「バンドワゴン」とは、パレードの先頭を走る楽隊車の事です。この楽隊車が来て演奏がはじまると、それまで冷静だった人の気持ちもウキウキしてきます！とても明るく楽しいブロードウェイ・スタイルのアップ・テンポのこの作品、タイトルも曲調もまさにコンサートのオープニングにふさわしい曲です！

コンチェルティーノ
Concertino op.107

作曲: セシル・シャミナーデ / Cécile Chaminade
編曲: クレイトン・ウィルソン / Clayton Wilson
出版: カール・フィッシャー / Carl Fischer

今回のプログラムで唯一スパーク以外の作品となるのが、このフルート・コンチェルティーノです。原曲は「フルートと管弦楽のためのコンチェルティーノ 作品107」と言い、セシル・シャミナーデというフランスの女流作曲家の作品です。幼いときから才能を発揮していた彼女はカルメンを作曲したビゼーからは「小さなモーツァルト」と可愛がられていました。現在ではピアノ伴奏で演奏される事が多いのですが、本日はバンド伴奏でお届けいたします。美しい旋律とフルートの音色をお楽しみ下さい。

オリエント急行
Orient Express

作曲: フィリップ・スパーク / Philip Sparke
出版: スタジオ・ミュージック / Studio Music

「オリエント・エクスプレス」は1883年に開通したパリ～イスタンブールを5日間で結んだ超豪華な国際寝台列車です。スパークはこの急行列車(蒸気機関車)の出発から到着までを描写しており、スパークの代表作の1つです。始まりは駅の場面から。警笛が鳴って徐々に列車が動き出し、やがて列車は軽快に走りだします。ヨーロッパの国々・風景を通り過ぎて行き、いよいよ終着駅に到着し蒸気列車もとまります。華やかかつ楽しい列車(演奏)の旅を皆さまに楽しんで頂ければ幸いです。

●第2部 アンサンブルステージ(連続企画)

◆クラリネット・パート

バガテル
BAGATELLE

作曲: クレア・グラントマン / Clare Grundman
出版: ブージー・アンド・ホークス / Boosey and Hawkes

古代のハンガリー舞曲 より第1、2、4楽章
EARLY HUNGARIAN DANCES I, II, IV

作曲: フェレンス・ファルカシュ / Ferenc Farkas
出版: ムジカ・ブダペスト / Editio Musica Budapest

◆トロンボーン・パート

シャルル四世のためのファンファーレ
Fanfare for Charles IV

作曲者: 不明
編曲者: ジョエル・ブラニク / Joel Blahnik
出版社: E.C.カービー / E.C.KERBY LTD.,

アメリカ組曲第1番より 第3楽章
「ビューティフル・リバー」
American Suite No.1 III [Beautiful River]

作曲者: R.ラウリー / R.Lowry
編曲者: R.C.ディシンジャー / Ronald C.Dishinger
出版社: メディチ・ミュージック・プレス / MEDICI MUSIC PRESS

Trombone Symphony より
「ゴールデン・スリッパーズ～我が悩み 知り給う」
Oh! Dem Golden Slippers~Nobody Knows the Trouble I've Seen

作曲者: 黒人霊歌
編曲者: ニューウェル H.ロング / Newell H.Long
出版社: ルバンク / Rubank Inc.,

●第3部 指揮者:吉崎直之

ダンス・ムーブメント
DANCE MOVEMENTS

作曲: フィリップ・スパーク / Philip Sparke
出版: スタジオ・ミュージック / Studio Music

アメリカ空軍バンドの依頼により書かれたこの作品で、スパークはサドラー国際作曲賞を受賞しました。この作品は色んな芸術家達へのオマージュが込められており、彼が作曲した中でも超難曲と言えるでしょう。また4楽章に別れてはいますが曲としては絶え間なく演奏されます。

- 1楽章: リトミーコ
ラテン・アメリカの雰囲気で作られており、その雰囲気を出すために打楽器群を活用しています。
- 2楽章: モルト・ヴィーヴォ(木管楽器のために)
イギリスのカントリー・ダンスのスタイルで書かれています。素朴なダンスから始まり絶え間なく踊り続けようとするが、時折オーボエのものういテーマが流れます。
- 3楽章: レント(金管楽器のために)
ストラヴィンスキーの作品が着想の源になっています。クラシック・バレエに見られる愛のデュエットを表現しようとしています。
- 4楽章: モルト・リトミーコ
最も長い終楽章は打楽器群が弾けるようにして始まります。レナード・バーンスタインの作品が着想の源となっており、スパーク本人も「ウェスト・サイド・ストーリー」の音楽にかなり影響を受けている、と語っています。



吉崎直之

奈良市立二名中学校、京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立音楽高等学校)、京都市立芸術大学音楽学部卒業。トランペットを八木茂夫、北村源三、藏野雅彦、有馬純昭の各氏に、指揮法を伊吹新一に師事。大学在学中から、フリーランス奏者として活動。京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、宝塚歌劇場管弦楽団、広島交響楽団、京都フィル・ハーモニー室内合奏団等にエキストラ出演。京都JEUGIAトランペット講師、大阪ブラス・コンソートのコンサート・マスター、BREEZE BRASS BANDでの活動を経て、現在、ブラス・フェイヴァリッツ、ウインドカンパニー、JAPANアカデミー・トランペット・アンサンブルのメンバー。ヤマハ株式会社契約インストラクター。全日本学校音楽研究会講師。奈良県立高円高等学校音楽科トランペット主科講師。京都市教育委員会吹奏楽特別非常勤講師。平成18年度文化庁学校派遣講師。賢明学院小学校、吐山ブラスバンド、橿原市立鴨公小学校、生駒台ジュニアブラスバンド、王寺ジュニアバンド・ハルモ、橿原市立八木中学校、葛城市立白鳳中学校、山添村立山添中学校、奈良県立高円高等学校、平城高等学校、二階堂高等学校、畝傍高等学校、京都市立紫野高等学校、白頭学院建国中・高等学校の各バンドを指導。